

2015年12月14日

三井化学株式会社

東京駅で南三陸町の特産品を販売

～「南三陸町を応援する企業の会」による東日本大震災復興支援活動～

三井化学株式会社（社長：淡輪敏）は、東日本大震災の被災地である、宮城県・南三陸町の復興支援に継続的に取り組んできた企業と連携して、12月25日に『南三陸町応援マルシェ』を開催します。

東日本大震災から5年。多くの被災自治体では、2015年を「復興を実感させる年」と位置付ける一方、被災者の生活再建は道半ば。そんな被災地の復興状況や、継続的支援の大切さを知ってもらいつつ、都会の真ん中で、誰もが気軽に被災地の郷土食材を買える“市場”があったらどんなに素晴らしいことだろう…。

そんな思いから「南三陸町を応援する企業の会」は『南三陸町応援マルシェ』を企画致しました。震災を乗り越えて復活した地元の特産品や、新たに企画された復興支援商品など、選りすぐりの逸品を販売致します。

2013年、様々な形で復興支援を継続してきた企業が集結し、「南三陸町を応援する企業の会」が発足しました。以降、我々は同会を通じて多くの復興支援を行うと共に、更なる支援について議論を重ねています。



『南三陸町応援マルシェ』

【日時】 2015年12月25日（金）

【時間】 11:30～19:30

【場所】 東京駅前・行幸地下通路「青空市場」内

※JR 東京駅丸の内地下中央口より地下道にて直結

◎主催：南三陸町を応援する企業の会

株式会社アルビオン・NECグループ TOMONI プロジェクト・株式会社 NTT ドコモ・MS&AD グループ
株式会社電通・三井化学株式会社・三井物産株式会社・三菱商事株式会社（50音順）

◎協力：一般社団法人 南三陸町観光協会

◎商品：南三陸の美味しい特産品 約40種類

震災を乗り越えて復活した地元の特産品や、新たに企画された復興支援商品など

三井化学グループは、2011年より毎年社員がボランティアとして全国から集まり、東日本大震災被災地の子どもたちの心のケアや感性を育む目的で、「ふしぎ探検隊」※1 化学実験教室を開催しています。今年も、実験教室の他、社員のボランティアが現地の美味しいものを選び、社員に向けてマルシェと報告会を行っています。

当社は、「南三陸町を応援する企業の会」と連携をしながら、今後も被災地の一日も早い復興に向けた支援活動を続けてまいります。

※1 ふしぎ探検隊

次世代を担う子供たちに「化学の楽しさや面白さを伝えたい」という当社社員の思いから、2006年に始まった化学実験教室です。活動の輪を全国に広げ、各事業所の地元の学校やイベント等で開催しています。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 電話 03-6253-2100